

研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-105
研究課題名 デジタルマンモグラフィ装置における拡大撮影条件の検討
研究期間 西暦 2013年 6月（倫理委員会承認後）～ 2013年 9月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（マンモグラフィ、摘出マンモグラフィ _____）
上記材料の採取期間 西暦 2009年 4月～ 2013年 5月
意義、目的 近年、我が国においてデジタルマンモグラフィ装置の普及は増加の一途をたどる。デジタルシステムにおける拡大撮影の重要性はアナログシステムと同様であると考えられる。しかしデジタル拡大撮影に関する物理評価や撮影条件の検討の報告はない。そこで、密着撮影と拡大撮影の物理評価を行い、デジタル拡大撮影の至適撮影条件を検討した。また、臨床画像を用いてその有用性を検討した。
方法 マンモグラフィ装置の密着撮影と拡大撮影の物理評価を行い、撮影条件の検討を行う。物理的観点から可能となった新しい拡大撮影の撮影条件と、従来撮影している密着撮影のマンモグラフィを一対比較法にて視覚評価を行う。対象マンモグラフィ画像は2009年4月から2013年4月までに撮影された患者のマンモグラフィと摘出マンモグラフィ併せて20症例を指す。
問い合わせ・苦情等の窓口 高瀬 圭 佐藤 由佳 satoyuka@rad.hosp.tohoku.ac.jp 022-717-7421